

2025年度 第3回 複合型サービスきょうりつ（看護小規模多機能型居宅介護）
運営推進会議

日 程：2025年9月26日（金） 14:00～14:30

場 所：複合型サービスきょうりつ 家族談話室

出席者： 綾部市高齢者支援課：相根 博之 様
中部地域包括支援センター：中野 多加子 様
複合型（看護職員）：清水 麻里
複合型（管理者）：白波瀬 実

欠席者： サロン広楽：梶村 隆三 様
民生児童委員：調整中

1、報告事項

- ・8月度実績：延べ登録者数 26名、 短期利用 0名
- ・平均介護度：2.88
- ・利用地域：黒谷、広小路、篠田、館、大島、位田、味方、栗、駅前、本町、物部、岡、中ノ町、上野、青野、下八田、安国寺、神宮寺、高津川糸、（高倉）、（鷹巣）、（和木）（ ）…新規
- ・サービス別 延べ提供数
通い：382回 泊り：150回 訪問（介護）：234回 訪問（看護）：14回
全サービス提供回数：780回（一人あたり週平均サービス提供回数：5.4回）

（前回6月の実績）延べ登録者数 26名 短期利用2名 平均介護度2.88

通い：386回 泊り：152回 訪問（介護）：210回 訪問（看護）：18回
全サービス提供回数 766回（一人あたり週平均サービス提供回数 5.9回）

- ・利用状況…新規利用者4名（退院後2名、居宅介護支援から紹介2名）
終了・中断利用者 0名
- ・サービスごとの特徴
通いサービス…1日平均 12.3回（前回12.9回）
泊りサービス…1日平均 4.8回（前回5.1回）
訪問（介護）…1日平均 7.5回（前回7.0回）
訪問（看護）…1日平均 0.5回（前回0.6回）
- ・利用者の状況…
8月は新規利用者を4名受け入れ、退院後に体調が不安定な方や居宅介護でのサービスで対応が難しい方の紹介が多くあった。
食事が入りにくい状態や精神科での病状管理が必要な方。また、毎日足の傷処置が必要な方の受け入れを行った。
月途中の利用や、利用を終了されるかたなど毎月変動あり。通い利用の定員は18名、泊りサービスは9名以内で利用を調整。緊急対応に備えて満床とならないように調整している。帰宅困難な方については、やむを得ず連泊となる方あり。土日も含めた毎

日の支援など多様なサービス提供を行っている。

訪問看護部門から夜間の相談体制や柔軟な在宅介護サポートについて説明。その他、排便コントロールの対応を行っている。また、今後 CV ポート管理が必要な方の受け入れを準備中。

ターミナルケア…現在1名の看取りのための支援を行っている。利用者の状態に合わせ、日中の短時間でも帰宅できるよう送迎や家族介護のサポートを行っている。

2、介護サービスの状況。

9月以降、複合型への新規利用者紹介が増えており、登録定員に近い利用者数となる見込み。この夏は猛暑で熱中症や脱水症、室温管理の支援が多く必要となった。午前・午後など時間ごとに訪問して在宅介護を行うケースあり。

3、地域の状況・課題・要望・助言等

猛暑の影響で地域の高齢者が体調を崩されるケースあり。体調悪化から入院に至ったケースあり。満床で入院出来ないことがあり、複合型で緊急的な泊り利用の受け入れを行った実績あり。また、要介護認定を受けていない方の利用相談あり、支援者側の判断により『要介護認定見込み』で利用開始されるケースもあり。急な受け入れは情報が少なく状態把握が十分にできていないこともある。

地域の『世界アルツハイマーデー』企画運営について情報共有。多くの方の参加あり、認知症の理解に繋がることを期待する。

市から『高齢者保健福祉計画』の検討状況について紹介。高齢者人口は減少傾向となっているが、後期高齢者は増える状況。このため介護保険サービス利用のニーズは増えている。また、地域の長期入所施設の受け入れや、家族介護・自治体の運営状況について情報交換を行った。

4、その他

- ・運営推進会議における外部評価…今後、進捗状況について報告を行う予定。

○ 次回、運営推進会議日程 2025年11月28日（金）14時～
※第4金曜日

以上